

# 塚越 慎子

マリンバ奏者



塚越 慎子 つかごし のりこ  
マリンバ奏者

パリ国際マリンバコンクール第1位をはじめ、ベルギー国際マリンバコンクール、世界マリンバコンクールなどで数々の入賞を果たし、現在最も注目を集めるマリンバ奏者の一人。国立音楽大学を首席卒業し、最優秀生として皇居内桃華楽堂で御前演奏を行った。ソロ活動の他、読響、広響、東京フィル、宮崎国際音楽祭祝祭管、東京シティ・フィルなどと共演し、高い評価を得ている。2012年、打楽器奏者として出光音楽賞を初受賞。現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。米・Innovative Percussion契約アーティスト。

Pick up artist

## 若き人気マリンバ奏者・塚越慎子 待望の最新盤は華麗なる 協奏曲アルバム!!

長年大切にしてきた  
2大マリンバ協奏曲を録音

国内外のコンクールで多くの優勝や入賞を飾り、巨匠シャルル・デュトワも才能を高く評価するマリンバ奏者・塚越慎子。この度、3年ぶりに待望の最新盤を発表した。収録曲は、伊福部昭のマリンバとオーケストラのためのラウダ・コンチェルタータと、セジヨルネのマリンバと弦楽のための協奏曲。どちらも塚越が長年大切にしてきた2大マリンバ協奏曲だ。

「『ジジラ』のテーマ音楽の作曲者としてもおなじみの伊福部による『ラウダ』は1976年作曲なので、今年から40周年の節目。当盤には、昨年12月に岩村力指揮・読売日本交響楽団と共演したライブ音源が収録されている。

「敬愛する伊福部先生が遺した唯一のマリンバ作品なので、ずっと演奏したいと思っていました。作品の特徴

であるリズムの強さと執拗なまでの反復は、いかにも先生らしい作風。また、中間部に出てくる美しいメロディも魅力ですね」  
ライブ録音の難しさや醍醐味を尋ねると、次のような答えが。  
「音楽としての完成度と、ライブの空気感を同時に味わえるよう、いつにも増して緻密な練習を重ねました。読響さんと今回が初共演でしたが、指揮の岩村先生は過去に共演したことがある信頼の篤い方。大編成のオーケストラに負けない強さを出せるよう、精一杯頑張りました」

### 大好きな作曲家の作風を 彷彿とさせるセジヨルネ

そしてもう一曲、こちらは今年4月にセッション録音したセジヨルネ。彼は、自身もパーカッションニストとして活躍する現役のフランス人作曲家だ。「私の最も好きな作曲家はラフマニ

ノフなんです。彼の存命中にはマリンバがなかったため、マリンバのための作品は存在していません。この作品は委嘱者からラフマニノフ風にとリクエストされたため、特に第1楽章は私好み(笑)の美しいメロディ・ラインで書かれています。2012年に出版されたため、この受賞記念コンサートをはじめ、これまでに複数回演奏してきましたが、その度に新たな発見があります。対照的な2楽章形式の作品という点もあり、今回はリズムカルな第2楽章に織り込まれたスペイン風の特徴をしっかりと出せるように心がけました。また、これまでに演奏経験を重ねたことで、フレーズ感をほんの気持ち強く、あるいは弱くといった踏み込みの強さが増したような気がします」

来年3月には、この2曲をプログラムに含むリサイタルも開催。こちらはピアノ伴奏版なので、作品の新たな魅力がスポッライトにあたることだろう。

#### 【新譜情報】

「伊福部昭：マリンバとオーケストラのためのラウダ・コンチェルタータ  
セジヨルネ：マリンバと弦楽のための協奏曲」  
収録曲/伊福部昭：マリンバとオーケストラのためのラウダ・コンチェルタータ、セジヨルネ：マリンバと弦楽のための協奏曲  
共演/岩村力指揮・読売日本交響楽団(伊福部)、塚越慎子アンサンブル(セジヨルネ)  
オクタヴィア・レコード/OVCC-00135 / 3,240円(税込) 2016年10月21日発売

#### 【公演情報】

「塚越慎子マリンバ・リサイタル」  
共演/今川裕代(p) 藤澤仁奈(マリンバ)  
演目/伊福部昭：ラウダ・コンチェルタータ(抜粋:ピアノ伴奏版)、セジヨルネ：マリンバ協奏曲(ピアノ伴奏版)他  
チケット/全席指定 4,000円 問合わせ先/株式会社AMATI:03-3560-3010



取材・文：渡辺謙太郎